



平成30年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年6月30日

上場会社名 スギホールディングス株式会社
 コード番号 7649 URL <http://www.drug-sugi.co.jp/hd>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎原 栄一

問合せ先責任者 (役職名) 事業推進室長 (氏名) 笠井 真

TEL 0562-45-2703

四半期報告書提出予定日 平成29年7月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	112,502	4.5	6,528	5.9	6,789	4.2	4,497	10.9
29年2月期第1四半期	107,649	5.4	6,166	10.7	6,513	8.0	4,054	4.5

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 4,529百万円 (10.7%) 29年2月期第1四半期 4,092百万円 (4.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	71.04	
29年2月期第1四半期	64.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第1四半期	241,888	151,728	62.7	2,396.44
29年2月期	230,664	148,782	64.5	2,349.90

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 151,728百万円 29年2月期 148,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		25.00		25.00	50.00
30年2月期					
30年2月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年2月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当5円00銭

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	228,000	4.7	12,500	6.9	13,000	6.9	8,400	13.4	132.67
通期	455,000	5.6	24,000	5.1	25,000	4.7	15,700	5.0	247.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期1Q	63,330,838 株	29年2月期	63,330,838 株
期末自己株式数	30年2月期1Q	16,559 株	29年2月期	16,460 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期1Q	63,314,328 株	29年2月期1Q	63,314,748 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年3月1日～平成29年5月31日)におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に、緩やかな回復基調が続きました。一方、個人消費の伸びについては、社会保障などへの将来不安や消費者物価の上昇等の影響もあり、力強さを欠いた状況となりました。

ドラッグストア業界を取り巻く経営環境につきましても、同業他社による積極的な出店や価格競争に加え、異業種・異業態の参入、および、同質化した熾烈な競争も増加し、更に厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、お客様ニーズ・競争環境の変化に迅速かつ確に対応できる「営業体制づくり」、「ウェルネスを基軸とした商品・サービスの拡充と売場づくり」、行政・団体・地元企業等と連携した「地域密着・深耕の推進」、地域ドミナント強化を目的とした「スクラップ&ビルド・改装の実施」、当社が差別的優位性を発揮する際の中核となる「人材の採用・育成の強化」などに積極果敢に取り組みました。

具体的には、

- (1) お客様が欲しい商品を、地域の人々の生活スタイルに合わせて週次に売場で展開し「個店単位でのお客様ニーズに合った売場づくり」を推進する、営業・商品・販促が三位一体となった「営業体制づくり」
- (2) 8種の美容成分配合の“カラーゲンドリンク”、植物性乳酸菌配合の“サプリメント”など、自社の柱となる「PB商品の開発・販売」
- (3) “ウェルネスを推進するまちづくり”を目指し、西尾市・大府市との「包括協定の締結」、および、行政・団体・地元企業等と連携した“健康フェア”、“健康教室”、“ウォーキング大会”などの実施といった「地域密着・深耕策の推進」
- (4) 優先出店エリアを定めた積極的な新規出店、小型店を大型化する増床改装など、中部圏強化の商勢圏づくりを目的とした計画的かつ積極的な「スクラップ&ビルド・改装の実施」
- (5) 将来の事業拡大の中核を担う「新入社員の積極採用」と実践・実学に基づく「キメの細かい教育・研修」
- (6) 行政・医療機関と連携した特定疾患向けの啓蒙・お薬手帳を活用した薬剤情報の一元管理サービスの提供といった、「処方箋応需」の増加を目指す取り組み、および、昨年度に再創出した調剤システムを活用した「薬剤師業務の生産性向上」

等々に取り組みでまいりました。

店舗の出退店等につきましては、15店舗の新規出店、21店舗の中・大型改装、5店舗の閉店を実施してまいりました。これにより、当第1四半期末における店舗数は1,058店舗(前期末比10店舗増)となりました。

以上の結果、売上高は1,125億2百万円(前年同期比4.5%増、48億53百万円増)、売上総利益は320億4百万円(同8.9%増、26億10百万円増)、販売費及び一般管理費は254億76百万円(同9.7%増、22億48百万円増)、営業利益は65億28百万円(同5.9%増、3億61百万円増)、経常利益は67億89百万円(同4.2%増、2億75百万円増)、これに伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億97百万円(同10.9%増、4億42百万円増)となりました。

なお、当社の事業セグメントは単一セグメントですので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

総資産は、現金及び預金および売掛金の増加等により、2,418億88百万円(前連結会計年度末に比べて112億24百万円増加)となりました。負債は、買掛金および賞与引当金の増加等により、901億60百万円(同82億77百万円増加)となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により、1,517億28百万円(同29億46百万円増加)となり、自己資本比率は62.7%(前連結会計年度末比1.8ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月11日に公表いたしました連結業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,425	75,588
売掛金	15,208	17,608
有価証券	15,000	15,000
商品	49,990	50,249
その他	10,764	9,550
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	157,387	167,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,255	33,986
その他(純額)	12,775	12,477
有形固定資産合計	46,031	46,464
無形固定資産		
3,242	3,242	3,280
投資その他の資産		
差入保証金	17,442	17,473
その他	6,618	6,733
貸倒引当金	△57	△57
投資その他の資産合計	24,003	24,149
固定資産合計	73,277	73,893
資産合計	230,664	241,888

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,661	54,170
未払法人税等	1,897	1,618
賞与引当金	907	2,391
その他	19,204	20,657
流動負債合計	70,670	78,838
固定負債		
退職給付に係る負債	4,580	4,669
資産除去債務	4,150	4,231
その他	2,480	2,420
固定負債合計	11,211	11,321
負債合計	81,882	90,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,434	15,434
資本剰余金	24,632	24,632
利益剰余金	108,856	111,771
自己株式	△46	△46
株主資本合計	148,877	151,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82	92
退職給付に係る調整累計額	△178	△155
その他の包括利益累計額合計	△95	△62
純資産合計	148,782	151,728
負債純資産合計	230,664	241,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	107,649	112,502
売上原価	78,254	80,497
売上総利益	29,394	32,004
販売費及び一般管理費	23,227	25,476
営業利益	6,166	6,528
営業外収益		
固定資産受贈益	78	97
受取賃貸料	316	375
その他	234	128
営業外収益合計	629	601
営業外費用		
賃貸収入原価	240	268
その他	41	71
営業外費用合計	282	339
経常利益	6,513	6,789
特別損失		
減損損失	26	84
特別損失合計	26	84
税金等調整前四半期純利益	6,487	6,705
法人税、住民税及び事業税	1,937	2,647
法人税等調整額	495	△439
法人税等合計	2,433	2,207
四半期純利益	4,054	4,497
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,054	4,497

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)
四半期純利益	4,054	4,497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	9
退職給付に係る調整額	24	22
その他の包括利益合計	37	32
四半期包括利益	4,092	4,529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,092	4,529

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは「ドラッグ・調剤事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。